

Doc.No : NR031204

2003年12月4日

千都フォント「ヒラギノ」が テレビ朝日の地上デジタルテレビ放送のデータ放送画面に採用

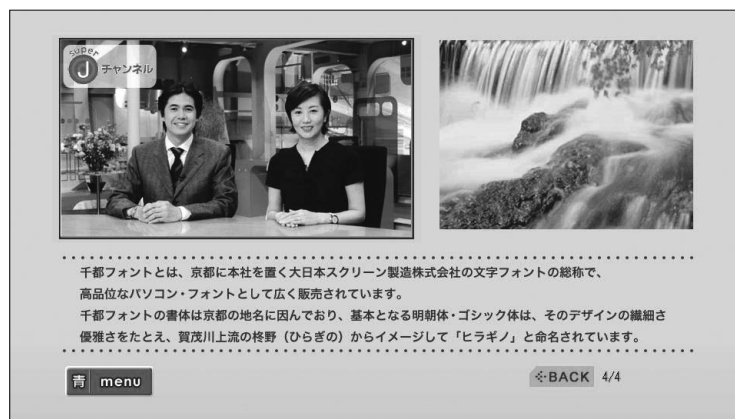
大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)のメディアテクノロジーカンパニー(社長：森野 富次)のオリジナル文字フォントである千都フォントシリーズ『ヒラギノ』は、「文字デザインの美しさ」「読みやすさ」などが評価され、株式会社テレビ朝日(本社：東京都港区、社長：広瀬 道貞氏、以下、テレビ朝日)が12月1日から関東エリアを対象に開始した「地上デジタルテレビ放送のデータ放送」の文字情報などに採用されました。

『ヒラギノ』は、当社が1993年に有限会社字游(じゆう)工房と共同開発したプロフェッショナル用のデジタルフォント「千都フォントライブラリー」の代表的なシリーズです。『ヒラギノ』には、角ゴシック体と明朝体など4ファミリーがあり、それぞれの用途や出力環境に応じて、TrueType、OpenType、CIDのフォーマットがあります。また、2001年3月にアップルコンピュータ株式会社がリリースした「Mac OS X」に、ヒラギノ書体シリーズの合計6書体が、OpenTypeとして標準搭載されたことにより、印刷業界のみならず、一般ユーザーへの普及も進んでいます。

今般のデジタル放送での採用に先駆けて、「ヒラギノ角ゴシック体」は、テレビ朝日が先ごろ一新した社名とシンボルロゴ(動画によるロゴで話題を呼んでいる)の和文表記に採用されたほか、同社の人気報道番組「スーパーJチャンネル」をはじめさまざまな番組のテロップ用フォントとして使用されています。人名や地名が多く登場する報道番組では、「文字数が多く、読みやすいフォント」が求められていた背景があり、『ヒラギノ』はその要求にかなったものです。

今後、テレビ放送は、2011年までにアナログからデジタルへ移行することで、より美しい映像、より品質の高いコンテンツが登場すると見込まれています。当社は、高品質の映像に最適なフォントを提供していくことで、テレビ業界への拡販を進める予定です。

*千都およびヒラギノは大日本スクリーン製造株式会社の登録商標です。MacOSXは米国Apple Computer Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。OpenTypeは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。ほか、文中に記載されている会社名は各社の登録商標または商標です。



テレビ朝日地上デジタル・データ放送画面より

●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室：Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上ル4丁目